

# 貴重な出会いに感謝して

—第9回 SSH オーストラリア海外研修報告—

◇期 日:3月7日(土)~16日(月)

◇場 所:オーストラリア ニューサウスウェールズ州

パートナー校セント・ジョン・ポール・カレッジ

コフスハーバー各地

◇参加者:本校1学年生徒11名・2学年生徒9名 計20名

◇引率者:島田和広先生・真野佳余先生

3月7日、多くの家族や先生方に見送られ、富山駅を出発し新幹線で東京に向かった。いよいよ始まる研修への期待と不安が入り混じる中、午後11時に羽田からオーストラリアへ飛び立った。現地ではシドニーを経由し、空路でコフスハーバーに到着した。ホストファミリーは皆温かく迎えてくれて、緊張も自然とほぐれていった。

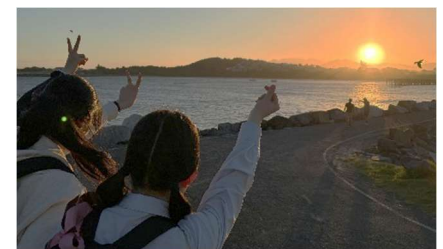


パートナー校セント・ジョン・ポール・カレッジへの登校初日の9日は、予め準備していった日本についてのプレゼンテーションを行った後、クイズをしたり、相撲の四股を踏む練習したりと盛り上がった。その後、バディとともに授業に参加した。多くの生徒が話しかけてくれ、交流を楽しむことができた。日本のお土産として持参したお菓子や折り紙を喜んでもらえ、嬉しく感じた。

10日は、土砂崩れによる通行止めでと呈していたドリゴ国立公園の代わりに、ウールグールガ・クリーク・レインフォレストで、オーストラリアの熱帯多雨林の自然観察を行った。日本と違う植生や生き物を実際に目にし、多くの発見と学びがあった。



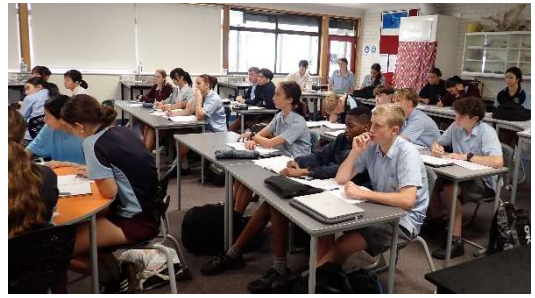
11日は 砂浜の生き物の種類や数の調査、サザンクロス大学の水族館見学、受精卵の観察実習を行った。夜にはマトンバード島を訪れ、富山ではなかなか見ることのできない満天の星空のもと、草陰を歩くマトンバードを夢中になって探した。



12日は、朝の全校集会で中部ウェーブとマツケンサンバの歌と踊りを披露した。中部ウェーブは現地の生徒も参加し、楽しみながらウェーブスタイルを真似してくれた。その後、コフスコースト・ワイルドライフ・サンクチュアリを訪れ、

保護されたウミガメやペンギンなどを見学した。生き物を守るための環境保全の大切さを改めて実感した。

13日は登校最終日で、日本語の授業に参加し、グループで日本とオーストラリアに関するクイズに取り組んだ。授業参加の後は、現地での研修成果を発表した。フェアウェルパーティーでは、中部ウェーブとマツケンサンバに加え、ソーラン節を披露した。バディやホストファミリーをはじめ、現地の生徒やその家族と食事を囲み、楽しい時間を過ごした。バディから研修の修了証とコアラのぬいぐるみを受け取り、あっという間だった研修の終わりが近づいていることに寂しさを感じた。



14日は、それぞれがホストファミリーと最後の1日を思い切り楽しんだ。アミューズメントパーク「ビッグバナナ」や動物園、ビーチなどを訪れ、コフスハーバーでの思い出を締めくくった。

そして迎えた別れの日。コフスハーバー空港で何度も別れの言葉を交わし、ハグや写真撮影をして名残を惜しんだ。もっと一緒にいたいという思いと同時に、バディとホストファミリーへの感謝の気持ちでいっぱいになった。シドニーへと移動し、オーストラリア最大級の広さを誇るタロンガ動物園を訪れた。そして飛行機に搭乗し、羽田空港へ向かった。16日の朝、富山駅に到着し、無事に戻ってくることができ、ほっとした。

この研修を通してさまざまな異文化を体験し、自分の世界が大きく広がった。この貴重な出会いや経験を大切に、今後の学校生活に活かしていきたい。この研修を支えてくださった全ての方々に感謝したい。

